

作物統計調査及び特定作物統計調査 令和5年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい (乾燥子実)の作付面積

— 大豆の作付面積は15万4,800haで、前年産に比べ2%増加 —

【調査結果の概要】

1 大豆

大豆の作付面積は15万4,800haで、前年産に比べ3,200ha（2%）増加した。

2 小豆

小豆の作付面積は2万4,700haで、前年産に比べ1,500ha（6%）増加した。

3 いんげん

いんげんの作付面積は5,860haで、前年産に比べ360ha（6%）減少した。

4 らっかせい

らっかせいの作付面積は5,710haで、前年産に比べ160ha（3%）減少した。

表 令和5年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積（全国）

区 分	計			田			畑		
	作 付 面積	前年産との比較		作 付 面積	前年産との比較		作 付 面積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
大 豆	154,800	3,200	102	122,100	1,400	101	32,700	1,800	106
小 豆	24,700	1,500	106	3,540	160	105	21,200	1,300	107
い ん げ ん	5,860	△ 360	94	267	△ 6	98	5,590	△ 360	94
ら っ か せ い	5,710	△ 160	97	115	△ 5	96	5,590	△ 160	97

- 大豆の作付面積調査は全国を調査の範囲としている。
- 令和5年産の小豆、いんげん及びらっかせいの作付面積調査は主産県を調査の範囲としている。主産県調査は、直近の全国調査年（3年周期）である令和3年産調査における全国の作付面積のおおむね8割を占めるまでの上位都道府県を調査の範囲とし、その範囲に該当しない都道府県であっても、畑作物共済事業を実施する都道府県を調査の範囲とする。全国の作付面積は、全国調査を行った令和3年産の調査結果を基に、推計したものである。

◎ 累年データ

1 大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積の推移（全国）

単位：ha

区 分	大 豆			小 豆		
	計	田	畑	計	田	畑
平成26年産	131,600	110,800	20,800	32,000	4,800	27,200
27	142,000	117,700	24,300	27,300	4,040	23,300
28	150,000	120,300	29,800	21,300	3,350	17,900
29	150,200	120,800	29,400	22,700	3,240	19,400
30	146,600	118,400	28,300	23,700	3,430	20,300
令和元	143,500	116,000	27,600	25,500	3,530	22,000
2	141,700	114,200	27,500	26,600	3,720	22,900
3	146,200	115,600	30,500	23,300	3,380	19,900
4	151,600	120,700	30,900	23,200	3,380	19,900
5（概数）	154,800	122,100	32,700	24,700	3,540	21,200

区 分	いんげん			らっかせい		
	計	田	畑	計	田	畑
平成26年産	9,260	301	8,960	6,840	140	6,700
27	10,200	330	9,910	6,700	138	6,560
28	8,560	292	8,270	6,550	132	6,420
29	7,150	318	6,840	6,420	133	6,280
30	7,350	308	7,040	6,370	133	6,240
令和元	6,860	305	6,560	6,330	126	6,210
2	7,370	321	7,050	6,220	125	6,090
3	7,130	290	6,840	6,020	125	5,890
4	6,220	273	5,950	5,870	120	5,750
5（概数）	5,860	267	5,590	5,710	115	5,590

資料：農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』（以下2まで同じ。）

2 大豆、小豆及びいんげん（乾燥子実）の作付面積の推移（北海道）

単位：ha

区 分	大 豆	小 豆	いんげん	金 時		手 亡
				金	時	
令和元	39,100	20,900	6,340	4,590		1,360
2	38,900	22,100	6,880	4,780		1,780
3	42,000	19,000	6,660	4,830		1,500
4	43,200	19,100	5,780	4,160		1,320
5（概数）	45,400	20,800	5,440	3,930		1,260

注：「金時」、「手亡」とはいんげんの種類を示す。なお、「金時」には「きたロツソ」を含んでいない。

【調査結果】

1 大豆（乾燥子実）の作付面積

大豆の作付面積は15万4,800haで、前年産に比べ3,200ha（2％）増加した。
これは、他作物からの転換等があったためである。

図1 大豆の作付面積の推移（全国）

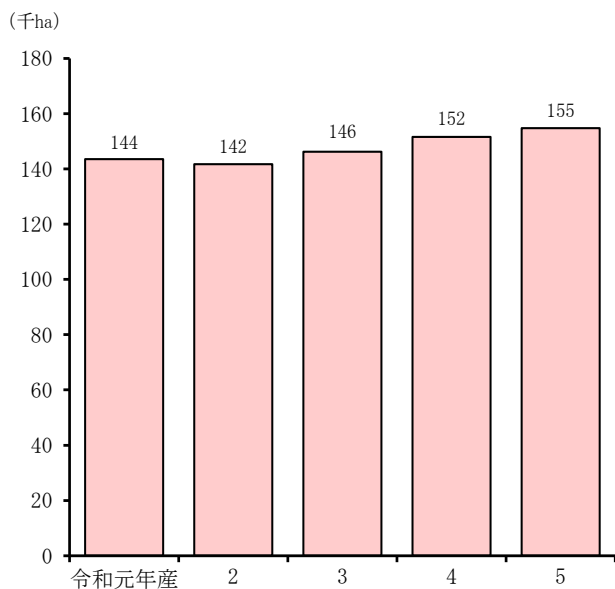
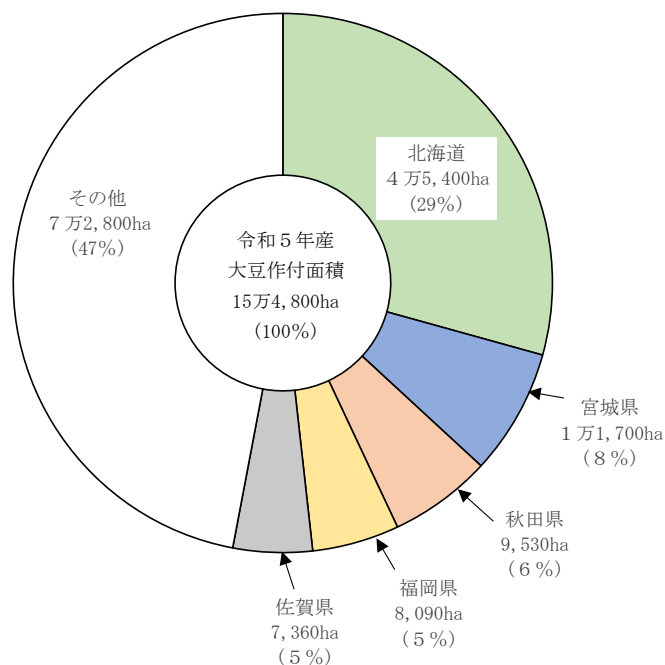


図2 大豆の都道府県別作付面積及び割合



注：統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下、図8まで同じ。）。

2 小豆（乾燥子実）の作付面積

小豆の作付面積は2万4,700haで、前年産に比べ1,500ha（6％）増加した。
主産地である北海道の作付面積は2万800ha（全国の約8割）で、1,700ha（9％）増加した。
これは、他作物からの転換等があったためである。

図3 小豆の作付面積の推移（全国）

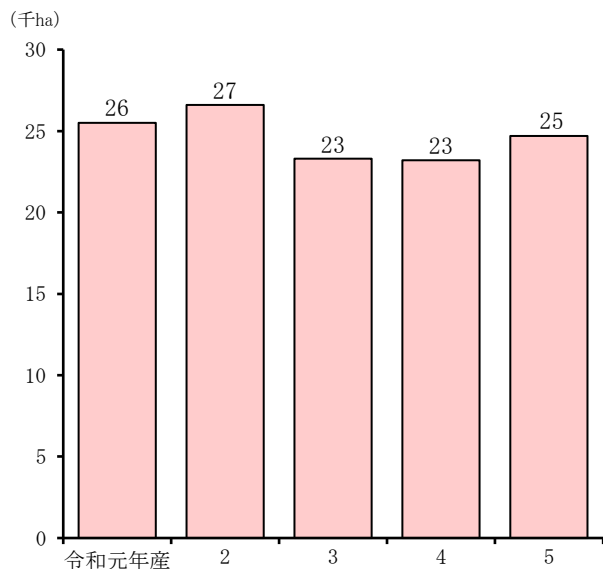
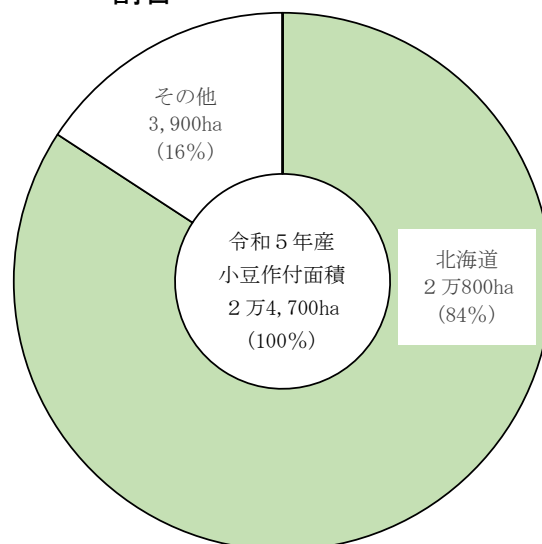


図4 小豆の都道府県別作付面積及び割合



3 いんげん（乾燥子実）の作付面積

いんげんの作付面積は5,860haで、前年産に比べ360ha（6％）減少した。

主産地である北海道の作付面積は5,440ha（全国の約9割）で、340ha（6％）減少した。

これは、他作物への転換等があったためである。

図5 いんげんの作付面積の推移（全国）

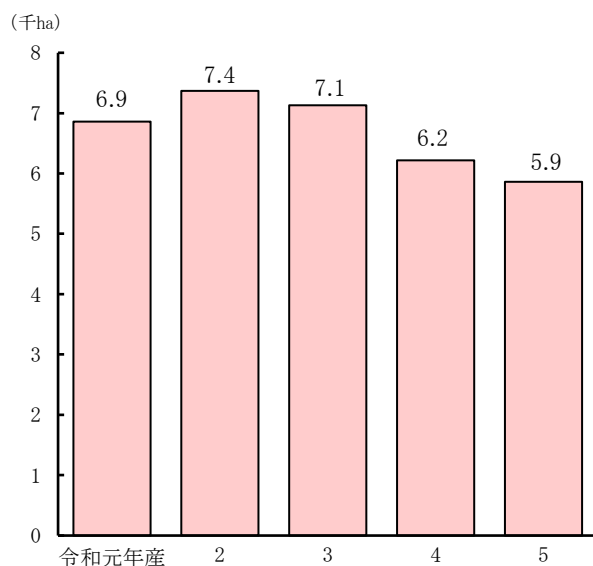
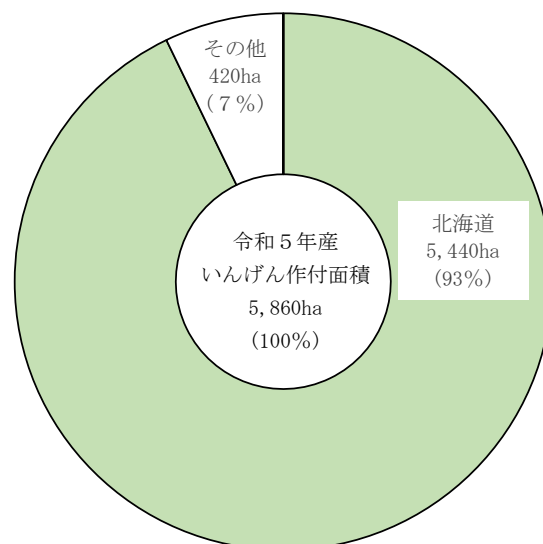


図6 いんげんの都道府県別作付面積及び割合



4 らっかせい（乾燥子実）の作付面積

らっかせいの作付面積は5,710haで、前年産に比べ160ha（3％）減少した。

主産地である千葉県の作付面積は4,680ha（全国の約8割）で、110ha（2％）減少した。

これは、生産者の労力事情等に伴う作付中止等があったためである。

図7 らっかせいの作付面積の推移（全国）

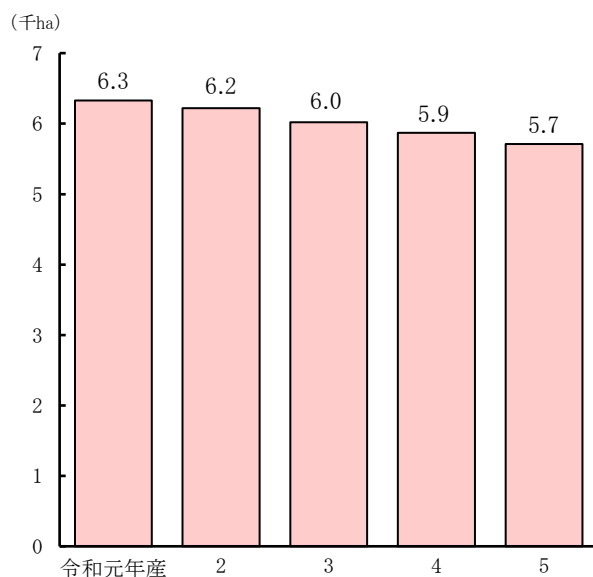
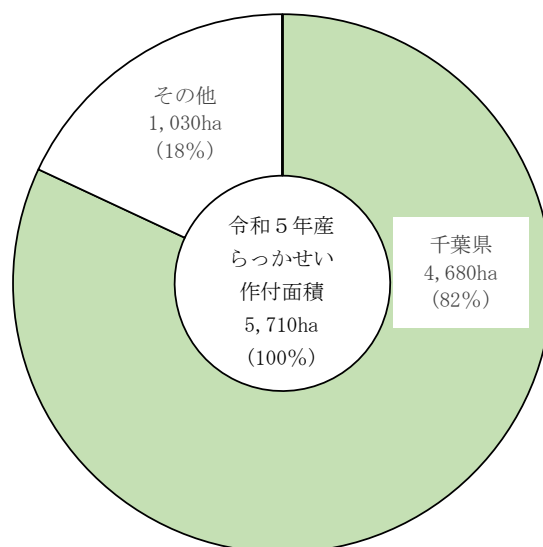


図8 らっかせいの都道府県別作付面積及び割合



【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040111900&ext=xls>

【調査の概要】

- ・ 大豆（作物統計（面積調査））
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>
- ・ 小豆、いんげん、らっかせい（特定作物統計調査）
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokutei_sakumotu/gaiyou/

【調査結果の主な利活用】

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 関税割当数量の算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和 22 年法律第 185 号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「作物統計」の「面積調査」で御覧いただけます。
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/#y6>
- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和 6 年 2 月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

- ・ 農林水産施策関係ページ：農林水産省>組織別から探す>大臣官房
<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>
- ・ 大豆関係ページ：農林水産省>組織別から探す>農産局>米（稲）・麦・大豆
>大豆のホームページ
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/daizu/>

お問合せ先

◎本統計結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3681

（直通）03-6744-2045

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589

（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



令和5年11月1日現在で、2023年漁業センサスを実施します。
(流通加工調査については令和6年1月1日現在)